



下大利シニアクラブ 白寿会 だより

2024年2月
下大利白寿会
広報班

新年会 盛大に 賑やかに

新年明けて間もない1月9日、雑餉隈「一品香」にて、1月のつどいを新年会として開催しました。

1月の誕生会では、該当する会員10名のうち、7名の参加があり、恒例の記念撮影もしました。

続いて、上大利翔劇団の公演を観賞。白寿会の児嶋弘徳氏のお話しで幕開け。優雅に琴の演奏、目出度い江戸踊り、華やかなフラダンス、滑らかな仕草の安来節どじょうすくい、面白おかしい手品、日本舞踊と、盛りだくさんの内容で、楽しませていただきました。翔劇団の皆様さん有難うございました。

12時過ぎから、7つの円卓を囲み、中華料理のお御馳走。お酒の類も少し出て、賑やかに楽しいひと時となりました。参加者35名、白寿会の大きな年中行事の一つ



となった新年会も、無事に終えることができ、今年一年の新たなスタートとなりました。

一品香での新年会は、昨年にかけて2度目となりますが、今回もお店には大変お世話になりました。まずマイクロバス2台での送迎、長時間にわたる会場と舞台の使用、出演者の控室の準備など、大サービスを提供していただきました。お世話になりました。心より感謝、御礼申し上げます。



「老人クラブ傷害保険」

加入申込み受け付けます

全国老人クラブ連合会が取り扱う傷害保険です。

自分がケガをした時の保険です
病気は対象外です

保険期間は、4月1日から1年間

シニアクラブを通して加入できる
保険で、年齢制限はありません。

掛金・保証の内容は、昨年までと
少し変わっています。

パンフレットがありますので、必要の方は申し出てください。

加入するか否かは、各会員個人の判断でお願いします。

加入申し込みの期限は3月5日

公民館 開館日時の変更 お知らせ

令和6年4月1日(月)から、

市内すべての公民館の開館日時が

統一されます

◎月曜日・国民の祝日 休館日

◎火・土曜日 9:00~21:00

日曜日 9:00~17:00



御目出とうございませう

山畑 玩子様

1月24日に 米寿を迎えられました。
これからもどうぞお元気で。

白寿会規約により、1月の誕生会で、お祝いが贈られました。



2月の古紙回収

2月23日(金・祭) 10時~

2月第4金曜日は、祭日(天皇誕生日)ですが、古紙回収は通常通り行います。

古紙の分別について

○新聞紙と、折り込みのチラシは一緒でもOKです。

○段ボールと厚紙は区別して。

よろしくお願ひします



2月のつどいは

2月13日(火) 10時~13時

公民館 2階 集会室

・誕生会 2月生まれの方 6名

・講演会 『特殊詐欺事件の現状と対策』

春日警察署担当官

参加申し込みは 2月6日までをお願いします。

会費 500円



みんな揃って新年の笑顔

毎年1月のつどいでは、横断幕の前で、参加者全員で記念写真を撮っています。今年35人が集まりました。

1月生まれの方の、誕生日のお祝いと、記念写真。



阿野 八尋 川原
山下松 榎木 山畑 鍵田 敬務略
祝 御誕生日

2月13日(土)のこの講演会では、特殊詐欺事件のお話を聞く予定です

特殊詐欺とは？

オレオレ詐欺、なりすまし詐欺などと呼ばれていました。内容によっては、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金詐欺、振り込み詐欺などと呼ばれることも。

2004年からは、振り込め詐欺と総称されるようになったらしい。

2013年には、警視庁がふさわしい名称を公募して、「母さん助けて詐欺」「ニセ電話詐欺」「親心利用詐

芙蓉俳句会 紙上句会

十二月 自由題

年の暮あれもこれもと気持ちだけ さよこ
気ばかりが焦る毎日年の暮 まさし
南天の赤実鮮やか希望湧く
神棚に御幣新たや年の暮 いさお
熱燗を楽しむ亡父懐かしや
餅搗きの杵の音にぎやか子供会
雑炊や年の重なる身に幸を
この寒さ空飛ぶ鳥のたくましさ
日日是好日なりし根深汁
ふるさとの生家は無人切炬燵
蒼水
けいこ
いさお



欺」が選ばれたそう。

現在では、ニセ電話詐欺(福岡県警ほか)、電話de詐欺(千葉県警)電話で「お金」詐欺(熊本県警ほか)などと称されているようです。

次々と出てくる、巧妙で複雑な詐欺の手法。名前も複雑?

講演を聞いて、特殊詐欺の現状と対策をしっかりと勉強しましょう。



下大利白寿会

シニアクラブ
みんなあつまれ!
会員募集

人との交流が多いと、健康にプラス
人と会う機会が増えて大きな効果

入会お申し込み 問い合わせは、

お近くの白寿会員 または

古賀会長(090-2960-2809)まで



先日、テレビを見ていたら、「冷たい」の語源の話をやっていました。

「冷たい」の語源は「爪痛し」だということ。本当かなと思いい、興味深いお話でした。

それならば、「寒い」の語源は? 「冬」の語源は? という事で、探してみました。



「寒い」は、「さぶし(寂し)→さむし→さむい」となったらしい。「寂し」はあるべきものがない、物足りない、物悲しいなどの意。

「冬」の語源については、万物が「冷ゆ(ひゆ)」、寒さに「震う(ふるう)」、寒さが威力を「振う(ふるう)」、など、いくつかの説があるようです。

「冷たい」の語源ほど、意外性はありませんでした、残念。

寒い冬も、あとひと月ばかり。寒さに負けず、元気で、春を待ちましょう。

